



横浜市立万騎が原中学校 学校だより

桐の花

校長 中村 雅一

令和3年

1月19日

横浜市旭区万騎が原 31 TEL 045-391-5514 FAX 045-391-5537

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/makigahara/index.cfm>

『当事者意識をもって、想像力を』

校長 中村 雅一

「人はただ病気になるのである」「コロナウイルスには誰でも感染する」「どんなに注意しても感染を100%防ぐことはできない」
— 当たり前の事実なのに、「感染は自己責任である」と非難する人がいます。そこで、感染した人は謝罪しなければならないという、おかしいこととなります。なぜそうなるのでしょうか。

それは、病気を憎むことや病気を制圧すべき「戦う」相手と見なすからだと言われます。誰もが病気にはなりたくないです。コロナになりたいという人もいません。しかし、病気やコロナが「憎い」という思いによって、また病気やコロナを「戦う相手」と見なすことによって、やがて病気やコロナのみならず、病気の人が、コロナに感染した人が、何か不名誉な扱いを受けることになっていくのだと言われています。そうすると、感染した人に対し悪い評判が立ち、場合によっては憎しみの対象になったりして、感染したこと自体で責められます。たとえ、治っても感染した人が憎しみの対象になれば、感染したことで責められる。そうすると、治っても感染した人は、謝罪しなければならないこととなります。

感染した人を責める人は、自分だけは感染しないと思いついて見えますが、その保証はどこにもありません。感染しないと思いついて人が感染したら、一体どうするつもりなのでしょう。いや、すでに誰もが無症状で感染している可能性すらあります。それゆえ、「だから、自分はずっと自粛をしているのに、街に繰り出して「密」を作る人が感染を広めている、許せない」と反論されるかもしれません。自分が感染していない、外出を控えているという一点で、自分を安全圏に置いて物事を考えていくと、そうではない人たちの様々な事情は、他人事となるだけでなく、その他人のせいで自分は被害を被っているという被害者感情が湧いてきます。しかし、他者に共感できる、つまり、他者の立場に自分を置くことができる人であれば、安易に他者を責めることはできないはずです。コロナウイルスに感染した人を責めることがおかしいということは、良識のある人であればわかることだと思います。

今、このような緊急事態であるからこそ、他者に対する「想像力」がより大切であり、より期待されるのは自然なことです。気付かないうちに自分が感染を拡大させてしまうかもしれないという他者への「想像力」と、例えば、在宅勤務ができない職種や家庭内の事情、病気での通院等からやむなく外に出ている人たちもいるという他者への「想像力」、そのどちらの「想像力」も大切です。集団の中の個人という細部にわたる事情は皆同じではありません。だからこそ、一方的な単純明快な論調には気を付ける必要があるのだと思います。

さて、生徒の皆さん、勉強や部活動においても、仕事においても大切なことは、「当事者意識」です。「当事者意識」を持っている人は、何でも「自分ごと」としてとらえ、常に責任をもって勉強をし、部活や仕事にも取り組みます。一方で「お客さん意識」の人がいます。勉強や部活動は教えてもらって当然と考えがちで、与えられた以外の勉強や練習、仕事には取り組もうとしません。全体的に、チームや学校などに対する感謝の気持ちや、「チームに貢献しよう」という意識が薄いです。そして、「お客さん意識」以上にやっかいなのが、「被害者意識」です。「被害者意識」の強い人は、常に「勉強や部活、仕事をやらされている」と思っており、たとえ自分が関わることでトラブルが発生しても、自分の責任を認めようとしません。それどころか、まるで自分が被害者であるかのようにふるまい、他人に責任をなすりつけたり、言い訳をしたりします。「被害者意識」というのは、いつの間にか芽生えてくるので、注意が必要です。あなたは、勉強をしているときに「なんでこんなことをしなきゃいけないんだ」と思ったことがあれば、それこそが「被害者意識」の入り口です。もし、そのような経験があるなら、思い出してみてください。「被害者意識」を持っているときは、恐ろしく効率が悪かったり、成果が上がらなかつたりしませんでしたか。このコロナの問題にもこの3つのどの意識を持つかで、対応や行動は変わってきます。誰もが自分事として「当事者意識」や「想像力」を持って、行動してくれることを望んでいます。

今、世界中で社会の分断が進んでいます。大きな要因として、格差の拡大によって、「自分こそが被害者だ」という意識を持つ人が増えたことであると言われています。多くの人が、自分たちが割を食っているのは『彼ら』のせいだと思っている。その『彼ら』が誰なのかは個人の立場によってさまざまで、政府だったり富を牛耳る大企業だったり、知的エリートだったりする。欧米の場合、『彼ら』には移民・難民も加わり、日本では、中国や韓国の人たちへの反感、ヘイトスピーチなどがその象徴です。

更に問題を複雑化させているのはSNSなどネット空間の存在です。特に、ツイッターは感情を共有するメディアなので、強くて断定的な言葉であればあるほど多くの『いいね』がつき、リツイートされていきます。その誘惑に負けて、つい極端なことを言ってしまうがちになります。私たちは基本、自分の見たいものしか見ないし、自分の聞きたいことしか聞かないという傾向があります。この傾向にSNSはますます拍車をかけることになっています。ネットの言葉は、実際に人を殴るより人を傷つける凶器になる、ということは生徒の皆さんも気づいていると思います。匿名性を盾にして、仲間の分断をあおるSNSでの攻撃や非難は絶対に許されないとす。

(令和3年1月15日)

2・3月の予定をお知らせします

※予定ですので、感染の状況等により大幅に変更になる場合もあります。

2月				3月			
日	曜	行事等	昼食	日	曜	行事等	昼食
1	月			1	月		3年×
2	火			2	火	防犯教室	3年×
3	水			3	水	10組お別れ会	3年×
4	木	1年百人一首大会 共通選抜志願変更(～8日)		4	木		3年×
5	金	2年百人一首大会		5	金	3年コーラスフェスティバル	3年×
6	土			6	土		
7	日			7	日		
8	月	全校集会(放送)		8	月	3年生を送る会	3年×
9	火			9	火		3年×
10	水	私立一般入試(3年特別時間割)	3年×	10	水		×
11	木	建国記念の日		11	木	卒業証書授与式	×
12	金	新入生保護者説明会	3年×	12	金		
13	土			13	土		
14	日			14	日		
15	月	3年公立共通選抜試験	3年×	15	月		×
16	火	3年公立共通選抜試験	3年×	16	火	2年球技大会	×
17	水	3年公立共通選抜試験 1・2年後期期末テスト	×	17	水	1年球技大会	×
18	木	1・2年後期期末テスト	×	18	木		×
19	金	1・2年後期期末テスト	×	19	金	1・2年コーラスフェスティバル	×
20	土			20	土		
21	日			21	日		
22	月		3年×	22	月	1年教科書配布	
23	火	天皇誕生日		23	火	2年教科書配布	
24	水	3年オリンピア講演	3年×	24	水		
25	木		3年×	25	木	大掃除	
26	金		3年×	26	金	修了式	
27	土			27	土	年度末休業	
28	日			28	日	↓	
				29	月		
				30	火		
				31	水		

〈後期期末テスト〉

3年

1月29日・・・英語・国語・数学・理科・社会

1・2年

2月17日・・・技家・音楽・保体

2月18日・・・理科・国語・社会

2月19日・・・英語・数学